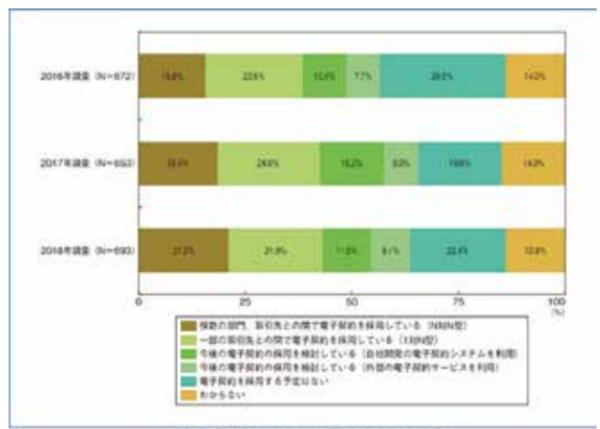


「契約」と聞くと、紙に直筆署名または会社のゴム印、印紙を貼って印鑑をポン、というイメージ、まだまだ根深いですね。それでも最近、電子契約、つまり紙の書類を取り交わさない契約が広がっていることにお気づきでしょうか？

身近なところで言うと、携帯電話の契約の際にタブレットにタッチペンで署名、しませんでしたか？クレジットカード支払いの時に、サイン専用の端末に名前を書いたことは？

この2つの例はあくまで個人の商取引の話ですが、個人にとどまらず企業間の取引においても、電子決済を取り入れる企業が増えています。

2018年の調査では、今すでに電子決済を取り入れている、あるいは検討している企業が約700社中60%を超えており、かつての紙ベースでの業務が着実にデジタルに置き換わってきていることが伺えます。



コムデックでもご多分に漏れず、電子サインのクラウドサービスを導入してみました！電子サインというと「クラウドサイン」や「ドキュサイン」が有名ですが、どれもひと月一万円～と、一か月に何十本と契約を結ぶ企業様ならいいかもしれませんが、月1件あるかないかのコムデックにとってはなかなか手を出しにくい金額…！ところがこの ZohoSign なら、プランにもよりますがだいたい 2,000 円くらいで利用が可能です。契約書を作成したら、お客様にご記入いただきたい部分を指定して、相手のメールアドレスに送信します。受け取った側は、メールアドレスのリンクから署名フォームに入力、たったこれだけで署名完了です。

1. お客様に入力してもらいたい部分を指定します

2. 電子署名を依頼するメールが自動で送信されます

3. 契約書が今どういう状態にあるのか (メールは見てくれたのか、署名してくれたのか)を確認することができます。署名のリマインドも、設定により自動で行ってくれます。

とはいえやっぱり契約は印鑑が無いと…電子署名なんて信用ならない！とお思いの方は是非一度、「電子署名法」と検索ください。

2001年に施行されたこちらの法律は、電子署名の法的有効性とそれが認められる水準を規定した法律です。

電子署名が効力を持つために必要な要件は大きく二つです。

- ・本人による署名であること
- ・署名後に契約書の改変が行われていないこと

ZohoSign では、署名後に発行できる証明書をもって「誰に送ったものなのか (メールアドレス)」、「いつ処理がなされたものなのか (タイムスタンプ)」、「どこからアクセスされたものなのか (IP アドレス)」等を証明しています。

▼電子サインを認証する証明書
電子署名が効力を持つための情報が記されています

既に何社かのお客様には、電子サインでのご契約をお願いさせていただきましたが、いかがだったでしょうか？契約のために相手のところに出向くことも、契約書を郵送することも、スタンプ台を出してきてゴム印や印鑑を押す手間もありません。言い換えれば今行なっているそれらは全てコストです。業務効率を上げていくことが必須のこの時代、簡単・便利な電子サインを始めてみませんか？

mini NEWS

9月のクラウド事業部：佐田さんのお子さんに引き続き、今度はITサポート部の濱口さんにお子さんが生まれました～！コムデックベビーブームですね。お名前は「駕向(かなた)くん。これからまだまだ怒涛の納品が続くITサポート部、お子さんのためにもより一層頑張ってくださいこと間違いなしですね！なお濱口さんも、2月に育児取得を予定しております。おめでとうございます！



いよいよオリンピックイヤー到来!!

明けましておめでとうございます。

日本中がアスリートの活躍に熱狂する東京オリンピック開催年となりました。そして、経営者の間では東京オリンピックまでは好景気は持続すると言われていまして、いよいよ夏以降の景気動向が気になる「令和2年」となります。

昨年は新しい天皇陛下の即位、消費税増税、軽減税率導入、働き方改革法施行など、何かとバタバタした1年でした。経営者としては、今年はずこし穏やかに過ごしたいなと内心思っていますが、1月14日の「Windows7&Office2010 サポート終了」に向けて年始早々から慌ただしいスタートとなることが確定しており、まだまだユックリできそうにない状態です。

年末にあまりに衝撃的な製品が発表され、ネット界がちょっとした騒ぎになりました。金融機関や自治体など、契約書・請求書の電子化が進んでいない業界の押印作業を効率化する狙いで、DENSO と日立キャピタル、



日立システムズが共同で、「書類を押さえ、めくり、スキャンし、ハンコで朱肉に触れ、書類の上へ移動し、押印する」ロボットを開発したそうです。最初は誰もが「虚構新聞」の記事かと思ったのですが、本気で開発された商品だったようで、3月～月額数十万円で提供されるとのことです。

判子なんて無くても困らない時代に、大真面目で押印ロボを開発し、さらにその押印ロボに毎月数十万円支払う顧客が居る日本に明るい未来があるのか本気で心配になりましたが、押印の手間すら惜しい程に人手不足の時代が来たのも確かです。

COMDEC は、様々な「IT(クラウド)サービス」を通して、伊勢からお客様がいま最も必要とする生産性向上を支援し、日本を元気にすべく2020年も社員一同邁進してまいります。本年も変わらぬご厚誼のほどお願い申し上げます。

リモートワーク実践記 オフィスアテンダント 平石編

徳田：世間でもリモートワークへの対応が進んでいますが、実際に自宅で働いてみるとどうなのか？ やってみたことがなければなかなか想像もできませんよね。そこで今日は、コムデックのリモートワーカー第一号、平石さんにお話を伺いました！

徳田：今日はよろしくお祈りします！平石さんには、基本はご自宅でお仕事をしていただき、週に一回程度、ご都合がいい日に社員とのコミュニケーションも兼ねて出社していただいています。まず、リモートワーク全般に対するイメージから伺っていきましょう！平石さんには8月からリモートでお仕事をしていただいています。それまで「リモートワーク」という言葉はご存知でしたか？印象はいかがでしたでしょうか。

平石さん：改めてインタビューされると少し緊張しますね、よろしくお祈りします。在宅ワークには少し興味がありましたが、「リモートワーク」という言葉自体は初めて聞きました。だから最初は、社長から「リモートで…」とお話を伺った時もあまりピンとこなくて。主に在宅でライセンスの管理等を…と言われて初めて「あ、そういうことか」と。私の場合は社内でも半年ほど勤めてからの在宅ソフトだったので、仕事内容はわかっていますし、概ねワクワクしていました。

徳田：よっしゃこれからは自分のやりたいときに仕事できるぞ～！みたいな？

平石さん：そんな感じです(笑)でもやっぱり、社内の人たちとのコミュニケーションと、自身のスケジュール管理が難しそうですねという心配もありました。

徳田：全てセルフマネジメントになってきますもんね。では、実際にリモートワークをされてみて、その印象はどう変わりましたか？

平石さん：私が心配していた社内の人とのコミュニケーションについては、LINE WORKS や Evernote があるおかげで特に大きな問題なく仕事をできています。必要事項の連絡や、ちょっとした相談やお願いなど、内容に応じて全体宛と個人宛を使い分けてチャットで連絡を取っています。口頭と違い、履歴が残っているのも助かりますね。



スケジュール管理についても、基本忘れやすいので、忘れる前にすぐに LINE WORKS のスケジュールに登録し、細かな内容は Evernote にメモなどすることで、作業漏れ無く業務が進められています。

徳田：社外からであっても、クラウドサービスを活用することで集中して仕事に取り組める環境が出来上がっているんですね。社長が、「たまに平石さんからすごい遅い時間にチャットが飛んできてビビる」と話していました(笑)

平石さん：子どもを寝かしつけてから仕事を始めることもあるので、たぶんその時ですね(笑)自分のタイミングで仕事ができるのも、リモートワークの魅力だと思います。

徳田：なるほど！ほかにリモートワークをしてみて感じたメリットはありますか？

平石さん：雨が降ってきた時に洗濯物をすぐにとりこめること！などなど、正直たくさんあります。さっきも言いましたが、なによりスケジュールを自由に組みやすい点が一番のメリットですね。元々コムデックはチャット一つ飛ばすだけなので連絡は簡単ですが、子どもが体調を崩して仕事を休まなければならないというプレッシャーから解放されたことや、隙間時間に家事をこなせることなど、時間を余すことなく有意義に使うことができています。あと、気持ちに余裕ができたことで子どもと遊ぶ時間が増えたことも嬉しく思っています。

徳田：時間を有効活用！働き方改革や生産性向上を考える上でいちばん外せないところですね～。では逆に、デメリットはありますか？

平石さん：よ～く考えてみましたが、これといって思い浮かびませんでした。しいて言うなら、自宅の暖房費が若干気になるくらいでしょうか(笑)

徳田：確かに！(笑)会社に来ているときよりも家にいる時間が長くなりますもんね！最後に、ご自宅の作業スペース、見せていただいてもよろしいですか？

平石さん：デスク&椅子は旦那さんの実家で捨てられようとしていたところをいただきました。モニター & PC は会社から貸していただいているので、自宅でもデュアルディスプレイでサクサク作業できます。

徳田：自分で仕事がマネジメントできる、または仕事を上手にこちらから振ることで、メリットたっぷりのリモートワークを実現できるということがわかりましたね。貴重な出社日にご協力ありがとうございました！

樋口のリモートワーク実践記 TOKYO STATION BOOTH 編

東京で一番落ち着く場所かも ...

リモートワークや Web 会議を活用した効率的な働き方や打ち合わせが、社内だけでなくお客様とも行われるようになりました。コムデック最高齢の私、樋口(47才)もクラウドを利用した働き方に精一杯取り組んでいます。WEB 会議はいまだにやや苦手です(^^)

今回チャレンジしたリモートワークは、巷で話題の電話ボックス型のエキナカ・シェアオフィス「STATION BOOTH」。

わざわざ休日の東京駅でガッツリ仕事しなくても ... と自分でも思いましたが、私は新幹線に乗ると寝てしまうので、乗車前にメールやチャットの返信は片づけてしまえと大助かりなのです。

スマートフォンでサクッとネット予約、指定時間にドアのバーコードリーダーで QR コードを認識すれば利用開始 OK！

電話 BOX 風の扉が開きますが、第一印象は「狭い!!」入室して最初の 10 分ほどは余りの狭さにオドオドしてしまいましたが、徐々に「オヤジの隠れ家」的な落ち着きが出てきて仕事の効率が上がります!!

余りの快適さに当初の予定 30 分のところを延長して、2 時間でかなりの仕事量をこなす事が出来ました。



中は減茶苦茶狭い!! ギチギチです。

東京では自分の居場所を確保するのがさへ一苦労、そしてその居場所にはお金がかかる街ですから、「静か」「高速 WiFi」「デュアルモニター利用可能」「15 分 250 円とリーズナブル」な仕事スペースがエキナカで確保できるのは有難いです。



まさに電話 BOX 型の外観... この狭い場所で仕事させようって都会人の発想が怖い。

もっとガッツリ仕事したい!という場合には、つい最近オープンした少し広めのコワーキングスペース「STATION DESK 東京丸の内」がオススメです。このように、Web 会議やじっくり資料作成ができるリモートワーク環境がハード面からも整ってきています。

皆さんも、様々な観点からリモートワークにチャレンジしてみませんか? 結構いいアイデアが

リモートワークの効果とは?

総務省の「通信利用動向調査の結果」の過去の調査では、リモートワークで得られた効果の1位は、Web 会議による双方の「移動時間の短縮」や、通勤や営業先からの会社までの「移動時間の短縮」でしたが、「平成 30 年」の調査結果では、「定型的業務の効率性(生産性)向上」が1位となりました。

これは自宅や Cafe などオフィス外で仕事をすれば、何にも邪魔されずに集中して業務に取り組める事で業務効率が上がるという意味だそうです。



総務省「平成 30 年通信利用動向調査の結果」

同僚との会話、来客、宅急便、電話、メール、チャット等々 ... 日常の作業環境は、集中して事務作業をするのにはやや向かない場面や時間帯が多々あります。確かに私も、誰もいない早朝の時間帯に出勤して、集中して自分の仕事をするための時間を確保するのが日課となっています。

リモートワーク、テレワーク、在宅勤務など呼び方の違いはありますが、モバイル PC、携帯電話(4G)、そしてクラウドサービスの普及で会社のオフィス以外で働く事が簡単にできる時代になりました。



【自社⇄社長リモートワーク風景】社長は宿泊先のホテルから会議に参加! Meetup 大活躍です!

すでに、19.1%の企業がリモートワークを導入、7.2%が導入予定ありと普及率が3割に近づくなど、リモートワークはすでに当たり前の働き方になりつつあります。毎日当たり前のように同じ時間に出勤して、同じ机に座る働き方以外に、リモートワークを体験することで、体験者が生産性の高い働き方の知見を得られてきた結果ではないでしょうか? また本年は、東京オリンピック開催期間中の交通規制によって、リモートワークが推奨されていることもあり、さらに普及率が上昇することが予想されています。

リモートワークの導入効果については、体験しないとわからないことだらけですが、移動時間の短縮だけでなく時間の効率的な活用による効果も大きいようです。2020 年は御社もリモートワークを体験してみる1年としてみませんか?

